

# あゆみ

Vol.145

令和7(2025)年  
11月1日発行



## 主な内容

- ★一般質問（9月議会）…………… 2頁
- ★委員会報告（9月議会）…………… 6頁
- ★審議結果（9月議会）…………… 9頁
- ★役員改選（8月臨時議会）…………… 10頁
- ★議会報告会開催…………… 10頁
- ★広報研修会報告…………… 10頁
- ★議会の日程（12月議会）…………… 10頁

## 田尻町議会 YouTube チャンネル

- ・議会の様子を視聴することができます。
- ・音声の内容は公式記録ではありません。





# 9月議会 一般質問

- 中野 静男 議員
  1. 本町におけるフューチャーデザイン導入について(現町情勢を踏まえて)
  2. 所信表明を受けて
- 吉開 育子 議員
  1. 早急に物価高対策の「全町民に10万円」支給を求める
  2. 公営合葬墓建設を
  3. 速やかに0～2歳児保育料無償化の実施を求める
- 小川 雄司 議員
  1. 早急に一時避難場所である駅上広場に大型避難用テントと災害用エアコンの配備を  
公民館の雨漏り修理及び大規模リフォームと1階の発電機の浸水対策を
  2. (仮称) 田尻町総合文化センターの建設費について
  3. 小中学校の現地建替において、エンゼルとの一体化検討の中止を
- 今井 猛史 議員
  1. 田尻町政について
  2. 一貫教育とプールについて
- 永井 朋一 議員
  1. 町長の所信表明について
  2. 家庭用食用廃油の回収BOX運用開始について
- 冬野雄一郎 議員
  1. 防災・文化センターの推進について
  2. 防犯対策として、「カメラ付きインターホン」設置・交換補助について
  3. コミュニティ組織(地区会)の改革・支援について
- 山口明日香 議員
  1. 山本町長の所信表明について
  2. 田尻町の広報戦略について

※一般質問の様子は町のホームページ上で閲覧できます。(You Tube による動画配信です)  
・閲覧方法・田尻町のホームページ  
[www.town.tajiri.osaka.jp/](http://www.town.tajiri.osaka.jp/) ⇒ 町議会 ⇒ インターネット配信

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。

※**答**の中で、『安まち局課長』は安全安心まちづくり推進局課長兼局長、『文化・教育PT理事』は文化・教育施設建設プロジェクトチーム理事の略です。



中野 静男 議員

## 問 フューチャーデザイン(FD)の導入を

### 答 総合計画更新時にFD視点を取り入れたい

**問** 町長選で、両候補は現役世代へ向けた公約を掲げたが、本町の将来ビジョンの明確化が必要と感じた。将来世代の視点で考えるフューチャーデザインの導入を求む。

**答** **総務課長等** 現役世代だけでなく、その課題の影響が及ぶ将来世代に立って議論する取組み(FD)は、財政に限らず、持続可能な社会を考えて行く上で非常に有意義なものと思う。今後の計画策定に取り入れたい。

## 問 町長選の公約それぞれの考えを問う

### 答 公約実現に向けて事業の構築を行う

**問** 町長は防災・文化センターを第一公約とし当選した(民意を得た)。今後の進め方は。

**答** **文化・教育PT理事** 町と議会議員と対話を進め、情報や知識を共有することが重要。そのステージづくりを進めて行く。民意については、着実に前へ進めていくことが責務と考える。

**問** 10万円給付は4つの施策の集約と認識、具体的内容と経緯、また、早急な給付を求める。

**答** **町長等** プレミアム振興券の増枠、地域商品券、全住民へお米の定期便、水道基本料金の無料化を考えた。町長選を展開するに辺り緊急性、迅速性が必要と感じ施策総額の10万円を支援金とした。速やかに準備を進める。

**問** 防災には共助が重要。地域コミュニティを担う地区会と防災を担う安住協の取組みは、計画通りに前に進めて行くべきと思うが。

**答** **安まち局課長** 地区会、班、地区委員をベースに発展的に急ぎ進めて行きたい。

**問** 防災・文化センター、小中一貫教育施設、公約を進める為の財政的裏付けは。

**答** **総務課長** 2つの施設は、国の交付金を最大限確保すると共に起債の活用で、収支均衡を図る。公約実現は制度設計を行い、安定で健全な町財政を堅持し事業構築を進める。



吉開 育子 議員

## 問 「全町民に10万円」は年内に支給を

答 早ければ9月議会閉会日に提案する

問 山本町長は選挙前に、物価高対策としての「全町民へ一人当たり10万円給付」について「何の施策でもございません」「とにかく10万円は駄目です」などと批判した。しかしその後、対立候補と同じように「物価高対策・緊急生活支援 全町民へ1人あたり10万円を支援します」と公約に掲げ、選挙公報にも掲載し当選された。所信表明で「厳しい暮らしの状況に鑑み、可能な限り早急に全町民一人あたり10万円の支援をおこなう」と明言されたことで、町民間では「いつ支給されるのか、早くしてほしい」と期待の声があがっている。10万円の給付準備が整い次第、年内に支給されるよう求める。

答 町長 投票日の2日後22日、一番早い方法は何かと職員に指示をした。

答 総務部理事 制度設計も含めて、検討をすすめている。16日に開く全員協議会で議員の皆さんと合意形成ができれば、早ければ閉会日に補正予算を追加提案させていただく。

## 問 来年度に公営合葬墓建設を

答 実現に向け検討をすすめる

問 山本町長は、町長選挙にのぞむ2回目のパンフレットに、「合葬墓の建設」を書き加え、選挙公報にも掲載された。今年3月議会で公営合葬墓建設の請願が採択されている。公営合葬墓建設にむけての検討を早急に始めて、来年度予算で実現を求める。

答 町長 公約をたてた以上は、ちゃんと実現に向けて検討をすすめる。来年度予算でという約束はできないが、着実に検討をすすめ執行していきたい。



小川 雄司 議員

## 問 駅上広場に避難用大型テントの配備を

答 大型テントは長時間の避難に適さない

問 8月7日の南海トラフ地震関連解説情報では、地震発生は「切迫性の高い状態」とある。つまり、一刻も猶予できない状態であるため、一時避難場所である駅上広場で一定時間、避難できる対応として「避難用大型テント」や「災害用エアコン」を配備することは不可欠であると考えているがどうか。

答 安まち局課長 一時避難場所の環境を整えることは非常に重要だが、大型テントは長時間の避難には適しておらず、防災・文化センターの建設が必要である。

## 問 センター建設は約18億円（町負担）では不可能

答 差し支えない

問 山本町長は選挙公報で「防災・文化センターを約18億円（実質町負担）で建設します」と公約されているが、建設資材の高騰により、この金額で建設することは実現不可能ではないか。

答 町長 建設資材の高騰は皆さんも重々承知の上のことなので、差し支えない。



今井 猛史 議員

**問** 一貫教育で取り組む  
非認知能力の向上は

**答** 学力と非認知能力の両面を  
バランスよく育てていく

**問** こども園・小学校・中学校の各図書室は、一貫教育施設整備で、どのように考えているのか。

**答** **一貫教育推進課参事** 読書だけではなく、交流や安心できる居場所となり、子ども達が日常的に滞在したくなるような、魅力的な空間とする施設を考えている。

**問** 町営プールの進捗状況は

**答** 多角的な視点を踏まえ検討を進めていく

**問** 町営プールの建設候補地は。

**答** **生涯学習課長** 今後、町の公共施設等総合管理推進委員会の中で検討していく。

**問** 町営プールの建設にあたり、スポーツ施設単体ではなく、「福祉」や「防災対策」を盛り込んだ、複合的な機能を有した施設整備は可能か。

**答** **生涯学習課長** 「スポーツと健康」と「防災対策」の視点も踏まえ、全庁的に取り組み、プールのあり方について検討を図っていきたいと考えている。



永井 朋一 議員

**問** 公約に掲げた施策について問う

**答** 独自の児童手当について支給の形をめざしているが、慎重になりたい

**問** 独自の児童手当の公約は、町長の構想として恒常性のあるものか。また、この施策を公約にする際、どの程度の事業規模を想定していたか。

**答** **子育て・地域福祉課長** 恒常性があるかも含め、支援内容について検討していきたい。

**答** **民生部長** 現金支給をイメージされていると思うが、それに限らず、その他の手法についても慎重に検討すべきと考える。

**答** **町長** 選挙時にイメージしていた数字は、それほど大きなものではない。公約時点で詳細な精査までは行っていなかったため、現時点での答弁は控えさせていただく。

**問** 次に公約にある合葬墓については、いつまでに事業化するのか。

**答** **住民課長** これから総合的に検討していくため、現時点では明確な答弁は控えさせていただきたい。

**問** 町長の任期中には完成してもらえるのか。

**答** **町長** 公約であるから、しっかりとやっていく。

**問** 家庭用食用廃油回収BOX設置を  
要望する

**答** 年内を目標に公共施設3か所に設置予定

**問** 設置箇所および、その利用方法は。

**答** **住民課長** 役場本庁舎・ふれ愛センター・公民館に各家庭でペットボトルに溜めていただいた食用廃油を集積する回収BOXを常設する。

**問** 消防上のリスクや衛生面のリスクは。

**答** **住民課長** 回収業者の方で適切に対応いただく。また、消防法への抵触がない形で実施する。

**問** 運用していくうえで、田尻町が負う負担コストはあるか。

**答** **住民課長** 設置場所の提供および連絡事務程度であり、費用面を踏まえても本町の負担はない。



冬野 雄一郎 議員

### 問 防災・文化センター建設の 住民の理解を進める対策は

答 住民との対話のなかで一緒に考え、  
進めていきたい

問 7月の町長選で防災・文化センターの建設推進については2度目の民意を得たと思うが、住民の理解を高めるために今後どのように進めていく方針なのか。

答 文化・教育PT理事 防災会の説明を含めたタウンミーティングを開催し、住民との対話、疑問への回答など、一緒に考える中で理解を高めたいと考えている。議会に対しても対話を進め、情報や認識の共有、知識の向上を図っていきたい。



山口 明日香 議員

### 問 町長の所信表明に関して

答 五つの重点施策の実現に向けて  
取り組む

問 防災・文化センターの建設は、最優先施策との事。建設スケジュールや財源の確保について、どのような見通しか。

答 文化・教育PT理事 防災・文化センターの件は、住民、議会、行政間の対話が第一だと思う。そこから得られた成果を元に理解し合い、情報や知識を共有する事が重要なので、まずは場づくり等を進めたい。

問 「5つのNo. 1」 防災・子育て・教育・健康福祉・地域コミュニティのNo. 1の実現について、住民の皆様には施策の成果をどのように実感していただくのか。

答 町長 小さな町の特性を生かし、住民8,500人の意識を一つにし、行政と議会が同じ方向を向いて取り組

### 問 地区会への支援策を今後 どのように進めるのか

答 班長や役員の負担を減らしつつ  
活性化に取り組む

問 コミュニティ組織である地区会支援策の策定経緯や、今後どのように住民に周知・理解を図ろうと考えているのか。

答 安まち局課長 地区会は、地域の課題や災害時には共助を行う非常に重要な組織である。会員減少の原因となっている班長等の負担軽減や、さらなる課題解決などの支援要請を地区連合会長より受け、幾度となく意見交換をして活性化案を取りまとめている。住民への周知については、町職員も地区会役員と一緒に説明に回りたいと考えている。

むことが重要であると考えている。まずは現状と課題を整理した上で、解決すべき事に優先順位をつけて進めていく。そして事業ごとに、できる限り数値化し、住民の皆様に見える形で周知する。

5つの分野について議論を深め、合意形成を図りながら進めることで達成したい。

### 問 田尻町の広報戦略の強化を

答 抜本的な強化は整備に向け研究を重ねる

問 紙媒体の広報紙だけでは、情報が行き渡りにくいように感じる。そこで、インスタグラムの強化に加え、施策やイベントを伝える動画配信や、YouTube開設を提案する。これによって、町内外への発信力が高まると考えられることから広報戦略の抜本的な強化を求める。

答 企画人権課長 広報紙は地区会配布に加え、公共施設設置、LINE配布、HP掲載などで発信している。YouTubeは開設に向け研究を進める。Instagramはフォロワーが1,000人を超えたので、今後も強化していく。広報紙は今年度から分かりやすい紙面づくりを試行している。広報戦略の抜本的な強化についても、体制整備に向けて研究を重ねる。



# 9月議会 委員会報告

## 総務建設常任委員会

委員長 小 川 雄 司

審査結果並びに経過報告 (9月8日開催)

◎職員の休日、休暇等に関する条例及び田尻町職員の育児休業等に関する条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 本町における育児休業の取得実績と対象人数は。

**答** 令和7年度は現在4名で、追加で1名取得する予定。対象人数も同数である。

**問** こども園の育児休業に対する職場の補充は。

**答** 今年度から、クラス担任に加えて2人目の担任として任期付き職員を段階的に配置している。今後施策の拡充も控えている中、正規職員の配置も対策をとっていききたい。

**問** 介護で休職される方はいるか。

**答** 介護休職の実績はない。現在のところそういう状況にまでは至っていないと考えているが、今後高齢化社会が進む中、介護休職、介護休暇も増えてくると考えている。

◎田尻町下水道条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 他の市町村長の指定を受けた者とあるが、他の市町村長とは、近隣の市町村長ということか、それとも全国の市町村長なのか。

**答** 全国の市町村長が対象である。

**問** 指定を受けられるのは大阪府での講習を受けた業者と認識していたが、全国の場合はどうなるのか。

**答** 各都道府県の下水道協会等が実施する試験に合格・登録した業者が対象となる。

## 文教厚生常任委員会

委員長 坂 口 実

審査並びに経過報告 (9月9日開催)

◎令和7年度田尻町一般会計補正予算(第5号)の件  
(4億3,384万4,000円の増額) 【全会一致で可決】

**問** ふれ愛センターのコミュニティエリアやレッスルルームの利活用は。

**答** コミュニティエリアやレッスルルームについて

は、令和8年夏以降のオープンになる。利活用については、事業者の提案を見極めていきたい。また、町直営の事業も検討しているので、並行して考えていきたい。

**問** こども園フローリング改修工事について、工事中の安全の確保については。

**答** 今回の工事場所は、保育室・遊戯室・廊下のフローリング床の部分。工事は順番に、土・日曜日に行うので、保育に影響を及ぼさないように進めていく。

**問** こども園の任期付き職員が今足りていないけれども、運営をしているということか。

**答** 会計年度任用職員の日勤の先生が、任期付き職員の不足分を埋めているので、先生の定足数は充足している。

**問** 歴史館防水修繕工事に関して、他の部分に対して修繕はしないのか。

**答** 現在のところ、玄関と書斎の部分となっている。雨漏りのしていない部分に対しても、今後検討していく必要がある。

◎令和7年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)の件

(739万7,000円の増額) 【賛成3、反対1で可決】

**問** 子ども・子育て支援金制度の実施により、国保加入者の保険料の負担増はどうなるのか。

**答** 国の試算によると、加入者1人当たりの月額では、令和8年度で250円、9年度で300円、10年度で400円という試算がでている。

**反対討論** 国保加入者の負担増につながるということなので、反対とする。

◎令和7年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の件

(299万1,000円の増額) 【賛成3、反対1で可決】

**問** 子ども・子育て支援金制度の実施により、後期高齢者医療保険加入者の保険料の負担増はどうなるのか。

**答** 国の試算によると、加入者1人当たりの月額では、令和8年度で200円、9年度で250円、10年度で350円という試算がでている。

**反対討論** 少子化対策は、大きな問題で支援すべきだと思うが、全世代に負担させるべきではないと考える。

# 決算特別委員会

委員長 永井朋一

審査結果並びに経過報告 (9月11、12日開催)

◎令和6年度田尻町一般会計決算認定の件  
【賛成6、反対2で認定】

## 歳入

**問** 公民館使用料で、うち還付未済額2万200円とあるのは、どういうことか。

**答** 公民館を利用されなくなったため、納入されていた使用料を返還しようとしたが、相手方に連絡がどうしてもつかず、今回のような形となった。

**問** 給食事業収入の滞納繰越分25万6,370円、過去からずっと残っているが、減額処理できないのか。

**答** 平成21～24年度の給食費の滞納分で、私債権のため不納欠損処理ができない。処理方法を精査し、来年度末には処理できるような形で進めていく。

## 歳出

### 総務費

**問** 職員の離職が結構何年にもわたり出ている。令和6年度はどうか。

**答** 令和6年度の退職者は9名で多かったが、半数以上は定年退職や止むを得ない理由による。若い世代で辞めた人もいるので、その原因等は何とか解決していきたい。

**問** 寄附謝礼が、令和5年度1,249万円に対し、6年度2,284万円と大幅に増えているが、その原因は何か。

**答** ふるさと応援寄付金にかかるもので、ふるさと納税の寄附額が2,000万円増加したことによる。

**問** 大崎市との友好都市交流事業委託料29万7,000円について、どういうものを行ったのか。

**答** 令和6年度は、鳴子のこけし絵付け体験を行ったところ、34名ほどの参加があった。令和7年度は、ずんだもちの調理体験を行ったが、参加者は40名ほどであった。

### 民生費

**問** 民生委員に何人か欠員が出ていると聞いたが、現在の状況は、どうなっているのか

**答** 民生委員について、令和6年までは2名の欠員状態であったが、7年に何とか充足できる予定となっている。

**問** ひとり親家庭医療扶助料446万円について、件数等は分かるのか。

**答** 世帯数でみると、令和6年12月末現在で59世

帯となっており、前年度よりは若干増えている状況である。

### 衛生費

**問** 墓地使用料返還金は墓じまいにかかるものと思うが、傾向としては、墓じまいは増えていつているのか。

**答** 令和6年度は3件だった。相談には結構来られているので、墓じまいを考えている方はある程度おられるのかなと感じている。

### 商工費

**問** 観光協会への補助金である観光振興補助金について、人件費を補助金として出すことは難しいのか。

**答** 観光協会へは、令和4年度から補助金や委託料にて支出しているが、今後に向けてどうするのがいいのか、検討していきたい。

**問** プレミアム付振興券は生活支援と産業振興の2面があるが、産業振興面について、どう評価しているのか。

**答** 店舗を継続する下支えになっている。町内に出店を考える際のツールとして、今後も進めていきたい。

### 土木費

**問** 駅上広場前の道路の植栽だが、木が枯れていて、草が生えている状態である。今後どうするのか。

**答** 現在ハナミズキを植えているが、状況を把握した上で、できるだけ枯れない対策を講じていきたい。

**問** 予算書に出ていた都市計画マスタープラン等改定及び立地適正化計画策定業務委託料1,290万円について、決算書には出ていないが、どうなったのか。

**答** 町の将来を展望するためには、次年度にスライドした方がよいと考え、期間を令和7・8年度に移したため、6年度は出来高がないこととなった。

### 消防費

**問** 災害対策費の備品購入費で防災用機械器具等とあるが、具体的に何を買ったのか。

**答** 折りたたみベッド50台、ガソリンで動く発電機2台、ガスで動く発電機2台、リヤカー等を購入した。

### 教育費

**問** 臨床心理士報酬217万円の内訳を教えてください。

また、実際に相談にきている学童はどのくらいいるのか。

**答** スクールカウンセラー2名分で、小学校とふれ愛センターに配置している。相談の延件数でしか把握していないが、年間であわせて290件程度であった。

**問** 田尻奨学生応援奨学金770万円、たじり夢サポート給付金150万円の給付人数等は、どんな状況か。

**答** 田尻奨学生応援奨学金については、育英奨学金が64名、スーパーグローバル大学進学者奨励金が7名で、たじり夢サポート給付金については5名であった。

**問** 公民館に設置している図書管理システムの利用状況等については、どれだけ活用されているのか。

**答** 令和4年1月に設置し、現在登録者数が2,477人、予約リクエストも昨年度2,586件利用された。

**反対討論** エンゼルと小中を一体化することは、進めるべきでない。築21年、狭い敷地内、子どもの教育環境を考えてもよくない。95億円の事業を、住民の理解を得ないまま進めるべきでないと考える。一貫教育施設整備の答申が、保幼小中の一体化ということを踏まえて反対とする。

**賛成討論** 決算書を確認したが、適正に執行されている。豊かな財源をもとに、独自の様々な施策を実施してきた。今後よりよい施策を共に進められたらいいと思う。

#### ◎令和6年度田尻町公共用地先行取得特別会計決算認定の件 【全会一致で認定】

**問** 当初に計上した予算の半分以上を減額補正しているが、なぜか。

**答** 算定業務は行ったが、契約の見込みがないものについては、減額補正をしたためである。

#### ◎令和6年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）決算認定の件 【賛成6、反対2で認定】

**問** 令和6年度から統一保険料になったが、一人当たりの保険料の値上げ幅は、どのくらいになったか。

**答** 一人当たりの保険料が11万4,904円になり、前年度と比べて1万7,246円の増となっている。

**反対討論** 令和6年度に府内統一料金となり、保険料の値上げとなった。人間ドック・脳ドックについては評価するが、事業費納付金の算定等につい

て不本意な点があると聞いている。大阪府に改善を求めることを要望しつつ、決算認定は、不認定とする。

**賛成討論** 保険者努力支援分の交付金に対しては、一度確認したうえで、努力を傾注していただきたい。それ以外については、特に問題ない考える。

#### ◎令和6年度田尻町後期高齢者医療特別会計決算認定の件 【賛成6、反対2で認定】

**問** 歳入で、特別徴収と普通徴収の保険料を合わせると、前年度から約1,000万円増えているが、保険料の値上げによるものか。

**答** 保険料率が令和6年度に変わって、保険料が上がったのが大きな要因と考えられる。

**反対討論** 物価高騰により生活苦が広がる中、保険料の上昇分については認められない。保険料率を変更する必要があったのか。また、令和3年度の制度見直しで、窓口2割負担が導入されて負担が増大している。

#### ◎令和6年度田尻町介護保険特別会計決算認定の件 【全会一致で認定】

**問** 歳出で6,000万円からの不用額が上がっているが、原因はどこにあると見ているのか。

**答** 保険給付費の介護サービス等諸費に関する部分で、主に不用額が出ており、居宅介護やグループホームの利用が減ったことによるものである。

#### ◎令和6年度田尻町下水道事業会計決算認定の件 【全会一致で認定】

**問** 公共下水道事業基金の約6,662万円（令和5年度末）について、決算書には出ていないが、どうなったのか。

**答** 令和6年度に企業会計へ移行したときに、基金は全額取り崩して下水道事業会計に引き継いだので、現在はゼロとなっている。





# 令和7年 9月議会 審議結果

○…賛成 ×…反対  
議…議長のため賛否なし

意見が分かれた議案名	審議結果	坂口実	永井朋一	吉開育子	小川雄司	原明美	山口明日香	冬野雄一郎	今井猛史	中野静男
令和7年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）の件	可決	○	○	×	×	議	○	○	○	○
令和7年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）の件	可決	○	○	×	×	議	○	○	○	○
令和6年度田尻町一般会計決算認定の件	認定	○	○	×	×	議	○	○	○	○
令和6年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）決算認定の件	認定	○	○	×	×	議	○	○	○	○
令和6年度田尻町後期高齢者医療特別会計決算認定の件	認定	○	○	×	×	議	○	○	○	○
令和7年度田尻町一般会計補正予算（第6号）の件	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○

## 意見が分かれた議案についての討論内容

### 令和7年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）の件

#### 反対討論

- ・子ども・子育て支援制度に伴う電算委託料が主な予算で、国保加入者の新たな負担（保険料増額）につながるので、反対とする。（吉開）
- ・電算システムの改修に係る予算ではあるが、医療保険料にかぶせて徴収する新たな仕組みは認められない。（小川）

### 令和7年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）の件

#### 反対討論

- ・少子化対策支援とはわかっているが、加入者から保険料を徴収するための電算システム改修の予算が入っているので、反対とする。（吉開）
- ・国保と同じく、医療保険加入者に新たな負担を求めるものであり、必要な財源の作り方が間違っている。（小川）

### 令和6年度田尻町一般会計決算認定の件

#### 反対討論

- ・95億円以上もかけて、エンゼルと小中学校を一体化することは考えられない。この進め方に異議があるので、不認定とする。（小川）

### 令和6年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）決算認定の件

#### 反対討論

- ・令和6年度に府内統一料金になり、保険料の値上げにつながった。また、町独自の軽減策ができなくなるので、反対とする。（吉開）
- ・事業費納付金について、当該年度の加入者の減が考慮されていない。大阪府に改善を求めている。（小川）

### 令和6年度田尻町後期高齢者医療特別会計決算認定の件

#### 反対討論

- ・保険料改定の年であったが、保険料上昇分については、加入者の生活状況を考えても認められない。よって、認定できない。（小川）

### 令和7年度田尻町一般会計補正予算（第6号）の件

#### 賛成討論

- ・介護・障害福祉事業者物価高騰対策支援金で、事業者間の公平性が担保されていないと感じるが、緊急事態なので今回は賛成する。（永井）
- ・10万円給付は、町民の生活実態を考えると必要と判断する。また、事務をいち早く進めたことを評価する。（小川）
- ・今回は、物価がかなり高騰しており、バラマキではなく根拠のある10万円給付なので賛成する。支給を極力急いでほしい。（中野）

# 役員改選のお知らせ

令和7年第2回臨時議会が8月8日（金）に招集され、選挙の結果、下記のとおりとなりました。

議 長	原 明 美	副議長	今 井 猛 史
-----	-------	-----	---------

また、これをうけて、議会改革特別委員会及び議会だより広報委員会の委員長が、原 明美氏から今井 猛史氏へ交代しました。

## 令和7年度町村議会広報研修会報告

広報委員 中 野 静 男

令和7年度町村議会広報研修会に参加しました。3つの講義がありましたが、福岡県大刀洗町議会の広報委員長の講義「議会活性化と連動した広報紙づくり～住民の政治参加をうながすツールに～」が今後の本町広報に活かしていくべきと参考になりました。大刀洗町議会は形だけでない開かれた議会を実践しており、議会基本条例は公募の住民に参加いただき、素案を検討し2年かけて作成しました。併せて議会だよりを刷新し、議会基本条例に沿った実施となっているか、全議案に対しての自由討議、行政へ一般質問の追跡制度等を行っています。その全てを議会だよりで住民へ報告しており、議会としての信頼を得ています。本町議会も議会基本条例の形を整えるだけでなく、誰のためか何のためかを考え、そこをゴールとしたものにしないと、継続もなければ、内容や見やすさ、住民の興味につながっていきません。改めて住民ファーストの必要性を感じました。この点を議会だよりに折込んだ紙面づくりを進めて行きたいと考えます。

## 令和7年 12月議会の日程 (傍聴可能なもの)

- 4日(木) 本会議（開会日）
- 5日(金) 本会議（第2日）  
※4日(木)に審議が終了しなかった場合のみ開催
- 8日(月) 総務建設常任委員会
- 9日(火) 文教厚生常任委員会
- 10日(水) 委員会予備日  
※8日(月)、9日(火)に審議が終了しなかった場合のみ開催
- 19日(金) 本会議（閉会日）

上記日程は、現時点での予定です。  
いずれも午前10時から本庁舎3階議場にて開催します。  
ぜひ傍聴にお越しください。

## 議会報告会を 開催します

- 日 時 令和7年11月29日（土）  
午後2時～4時
- 場 所 たじりふれ愛センター  
4階研修室
- 報告内容 令和7年の議会での議決の  
経過や結果について

### お問い合わせ

議会事務局  
Tel 466-5000 Fax 466-5028

